

資料番号	6
------	---

令和6年8月23日
課名 地域政策局スポーツ推進課
担当者 課長 田口
内線 2640

パルクール日本選手権の広島開催について

1 要旨・目的

公益財団法人日本体操協会（以下「協会」という。）主催のパルクール日本選手権が、令和6年8月30日（金）～31日（土）に広島で初めて開催されることとなった。

2 現状・背景

- ・ 本県では、国際大会で活躍するパルクールのトップアスリートを輩出するため、協会と連携・協力して、全国のジュニア及びキッズを対象とした発掘・育成・強化プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）に取り組むこととし、令和5年6月30日に協会と「パルクールの競技力向上に関する協定」を締結した。
- ・ プロジェクトの一環として、全国のジュニア及びキッズ強化候補選手を選考するための大会を、令和5年7月に初めて広島で開催し、選抜された強化候補選手を対象に、これまで、広島で強化育成合宿及び強化育成練習を実施してきた。
- ・ こうした中、協会から、シニア選手対象の令和6年度の「パルクール日本選手権」についても、フリースタイル部門の決勝を広島で開催したいという提案があった。

3 大会概要

(1) 名称

第5回パルクール日本選手権 フリースタイル部門決勝

(2) 主催

公益財団法人日本体操協会

(3) 日程

令和6年8月30日（金）～31日（土）

(4) 場所

広島県立総合体育館小アリーナ（広島市中区基町4-1）

(5) 種目

フリースタイル男子・女子（参加年齢：17歳以上及び参加を希望する16歳）

(6) 主な参加選手

- ・ 勝乗 志音（男子予選6位、広島出身）
 - ・ 亀井 彩桜（女子予選2位、令和5年度プロジェクト強化候補選手）
 - ・ 松原 夕來（女子予選3位、令和5年度プロジェクト強化候補選手、広島出身）
- ※ 現時点の参加予定であり、変更の可能性あり。

(7) その他

ジュニア及びキッズ選手を対象とした強化候補選手の選考大会(今年度大会名称:「ネクストジェンフリースタイル部門決勝」)を同時開催する。(8月31日(土)～9月1日(日))

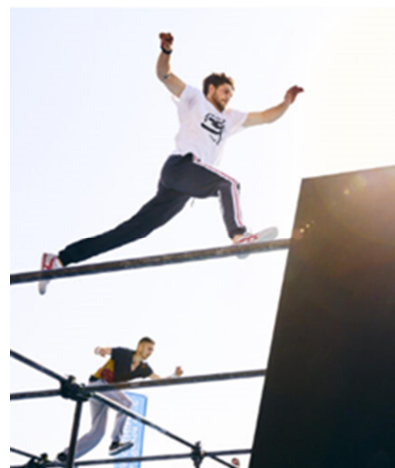
4 予算(県補助金)

410千円

5 参考

(1) パルクールとは

- ・ パルクールは、様々な障害物(オブスタクルス)を、跳ぶ・飛ぶ・回る・越える・走る・掴む・振る・登る・降りる・捻るなどの動作を行いながら乗り越えていくスポーツである。
- ・ 種目は、スタート地点からゴール地点まで、コース上の障害物を越えながらタイムを競う“スピード”と、テクニックとクリエイティビティを競う“フリースタイル”がある。
- ・ 現在、体操競技について国際的に統括する団体である国際体操連盟(FIG)が、2028年のロサンゼルスオリンピックや2032年のブリスベンオリンピックにおいて、オリンピック種目となるよう、取組を進めている。



(2) パルクールと広島とのゆかり

- ・ 「FISE HIROSHIMA」において、日本初の競技パルクールの国際大会が広島で開催され、「FISE HIROSHIMA 2018」では19か国34名、「FISE HIROSHIMA 2019」では17か国55名の選手が大会に参加した。
- ・ また、2018年に、荒本英世氏(現日本体操協会パルクール委員会委員長)が、日本初の屋内パルクールジムを開設した。
- ・ さらに、ジュニア・キッズ世代では、2023年に、協会による強化候補選手の選考大会を初めて広島で開催し、11名の強化候補選手(うち広島出身8名)を選抜。その後、強化候補選手を対象とした強化育成合宿及び強化育成練習を広島で行っている。



6 その他(関連情報)

(1) 協会との協定締結式の概要

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/257/parkour202301.html>

(2) 日本体操協会パルクール委員会

<https://www.japanparkourcommission.jp/>